

## 住み慣れた地域での 生活を支える



東埼玉病院 総合診療科スタッフ

患者さんの住み慣れた自宅での療養を支える「在宅医療」が注目を集めています。日本では、8年後の2025年には65歳以上の高齢者が全人口の30%を占めると予想されています。高齢になると身体機能が低下し、通院が難しくなる方もいます。また、病院を退院して住み慣れた自宅で療養したいと希望する方も多くいます。こうした患者さんの事情や要望に応えるのが在宅医療です。国立病院機構（NHO）もニーズの高まりを受け、地域の関係する方々と連携して在宅医療に力を入れてきました。また、蓄積されたノウハウは、他のNHO病院にも伝えられています。今回はNHOにおける在宅医療への取り組みを紹介します。